

「安全最優先」は美名だ！ 責任追及より 原因究明を最優先せよ！

東海会社のキャッチフレーズは《安全最優先》ですが、鉄道輸送業として至極、当然であります。しかし、安全に対する企業風土は、旧態依然の原因究明より責任追及が最優先されており、安全問題に「労働組合が口出しするな！」が会社の本音であり現実です。

633 A 担当乗務員は、やってはいけない事を行ったのは事実であります。犠牲者とも言えるのではないのでしょうか？その理由は、会社の風通しの悪い職場環境と異常な労務管理が背後要因があるのではないのでしょうか？

運転士業務のミス、例えば列車遅延や停止位置行き過ぎなどは責任事故 A と認定され、乗務を外され日勤となります。そして、フォロー教育が実施されます。また、出勤遅延しても、会社から執拗に事情聴取がされ、目覚まし時計を寝室のどの位置に置いたかなど部屋の見取り図まで作成強要される始末です！！

他方、アルコール検査アウトでの事情聴取では、何時から何時まで何を何杯飲んだか？にとどまらず、浴槽に左右どっちの足で入ったか？等も聴取される事もあります。

会社は、運転ミス、出勤遅延、アル検でのアウト等が発生すると、職場内に『非常事態宣言』なる掲示が掲出され過剰な注意喚起が行われます。最近では、3色(赤、黄、緑)のぼり旗まで現れました。

- 今回の事象では、『5/16異常運転発生(運転室離脱)』なる掲示がトイレ内まで掲出されています。また、金子社長が赤羽国交大臣に謝罪する姿が大型モニタに映し出されています。

この間私達は、《過剰な注意喚起は、過大プレッシャーを与えるだけで逆効果だ！重大事故発生を招くだけだ！》(交差点No.●●)と警鐘し是正を求めてきました。

会社は、常日頃「危ないと思ったら直に停止手配！列車を止めろ！」と、一方、「体調不良時は速やかに指令報告しろ！」と指導しています。体調不良では正確な判断が欠如し安全確保が不可能です。

よって、「体調不良は直に停止手配！列車を止めろ！指令報告は事後報告で良い！」と安全最優先の指導をすべです！！

私たち東海労は、悲惨な尼崎脱線事故を風化させることなく、更に教訓化すべきと訴えます！！